

令和元年度 神戸市立海外移住と文化の交流センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	海外移住の歴史及び意義の継承、地域に在住する外国人等との交流並びに国際的な芸術の交流を通じて、多様な文化が共生するまちづくりに資することを目的として、平成21年6月に開設。以下の3つの機能を併せ持つ複合施設。 ①希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム機能) ②多文化との共生の広場(在住外国人支援機能) ③芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流機能)
(2)指定管理者	海外移住と文化の交流センター共同事業体 【代表者】株式会社カワサキライフコーポレーション 【構成員】一般財団法人日伯協会(以下、「日伯協会」) 【 " " 】特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティCBK(以下、「CBK」) 【 " " 】特定非営利活動法人芸術と計画会議(以下、「CAP」)
(3)指定期間	平成29年4月1日から令和3年3月31日まで
(4)R1市支出額(単位:円)	協定締結額48,527,593円 決算額.....46,946,797円 (差額.....1,580,796円は修繕費として精算戻入)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		元年度の状況
①施設の維持管理業務		<ul style="list-style-type: none"> ・全館の統括責任者1名を中心に、施設・設備管理と3つの機能(部門)をそれぞれ担当する4名の運営スタッフの合計5名が常駐し、センターの運営にあたった。 ・設備の保全や清掃業務は外部に委託し、法令点検や定期点検等を行った。 ・館内外の美観の維持に特に配慮し、館内清掃はもとより、正面広場の芝生整備、植栽など、来館者に好感を与えるための施設整備を積極的に行った。 ・近隣住民の方々への配慮として、5階ホールでの音楽イベント時の音量抑制及び別館における制作活動時の騒音抑制、遮光カーテンの活用による夜間照明の漏れ防止に取り組んだ。 ・昨年度に引き続き電気・ガス等の抑制に努めたが、天候の影響により電力使用料は前年比で1.5%増加し、ガス使用量は前年比で4.8%増加した。
②施設の運営業務		<p>○開館日数 282日 ○開館時間 午前9時～午後10時(移住ミュージアムは午前10時～午後5時) ○令和元年度の特記事項は以下のとおり。</p> <p>■希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム)</p> <p>(1)企画展 ・日本人ブラジル移住110周年記念 「日本と世界の食糧危機を救う ブラジルの農業を引っ張る日系農協」 (5/25～7/28:1,005人) ・神戸市・リオデジャネイロ市姉妹都市提携50周年記念 「リオといえばカーニバルでしょ!!」(10/27～12/22:1,221人)</p> <p>(2)特別展 ペルー日本人移民120周年記念写真展 「同じ太陽のもとで」(9/7～10/5まで499人)</p> <p>(3)常設展 (4)移住ミュージアム企画委員会の開催(新型コロナウイルス感染症による臨時閉館により中止)</p> <p>■多文化との共生の広場(在住外国人支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日系人への生活相談 ・日系ブラジル人の子どもたちに対する日本語学習支援教室・母語教室 ・移民祭など移民の歴史を啓発する事業 ・南米諸国のお祭り(フェスタ・ジュニーナ)などの集客事業 など <p>■芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流)</p> <p>(1)海外からのアーティストを含む様々なアーティストと市民との交流の場として、アーティストの制作プロセスを公開する「公開アトリエ事業」を実施(アトリエ12室、フィンランド・ドイツからのアーティストが参加)</p> <p>(2)企画展覧会(17回(うち2回は新型コロナウイルス感染症による臨時閉館のため中止))を実施し、国内外のアーティストの作品を展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 「パオラと呼ばれた身体」来場者約680人 ・12月 C.A.P.25周年企画「私と私たち」来場者約1,300人 他

③その他の業務	<p>○日伯協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル・ポルトガル語講座の開催 ・移住ミュージアムにおける関連品目の販売 ・関連図書・資料の閲覧提供 (令和2年3月末現在、図書2,767冊、資料約500点。 図書・資料一覧については分類整理を行ったうえでホームページで公開。) ・パンフレット「移住ミュージアム案内ガイド」の英語版を作成 ・海外移住と文化の交流センター開館10周年記念事業として下記の講演を実施 「ブラジルセミナー-最新のブラジル事情-」(令和元年9月10日)、 「"マルシア"トークイベント」(令和元年12月1日) <p>○CBK</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国からの訪問団の受入(令和元年度は韓国から) ・移民写真展の開催 ・大学など各団体からのインターンシップ受入 など <p>○CAP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人から子供まで参加できるアートに関する体験講座「アート林間学校」 ・休日クラブ ・破墨プロジェクト など 55の自主事業 <p>○3つの団体の連携事業として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中南米音楽会(3回)
(2)利用状況	元年度の状況
①施設利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数: 令和元年度52,587人(対前年度比△1.3%) 平成30年度53,286人(対前年度比△11.1%) ・昨年度に続き、提案時の目標値(51,000人)を上回った(+3.1%)。 ・9/30～10/9の間のKOBÉ観光ウィークに積極的に参画した。 ・昨年に続き、三宮インフォメーションセンター・新神戸駅観光案内所・北野異人館観光案内所・北野工房・神戸海洋博物館でのリーフレットを配布し、PRを依頼した。 ・貸館対象施設の稼働率(コマ数方式、年間平均、カッコ内は前年) [全館トータル]54.5%(55.0%) [1Fホール]31.2%(53.4%) [2F多目的室] 98.6%(68.2%) [2Fセミナールーム] 12.3%(14.5%) [3F小会議室] 45.6%(46.2%) [3F大会議室] 30.0%(37.6%) [3Fギャラリー③] 108.5%(100.0%) [4Fギャラリー①] 72.7%(77.6%) [4Fギャラリー②] 72.7%(77.6%) [5Fホール] 19.1%(21.8%)
②その他利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用台数 令和元年度:3,201台(約11台/日) 平成30年度 3,299台(約11台/日)
(3)収支状況	元年度の状況
①使用料または利用料金収入	<ul style="list-style-type: none"> [貸館事業]・活動支援室 令和元年度480,000円 平成30年度480,000円 ・会議室等 令和元年度379,700円 平成30年度403,900円 [駐車場使用料] 令和元年度925,400円 平成30年度974,100円 ※センターへの入館及び移住ミュージアムの見学は無料
②指定管理者の収支状況	神戸市負担額 46,946,797円
(4)その他	元年度の状況
①行動指針に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・行動指針に則った対応をし、多文化共生及び地域活性化の拠点になるよう各事業を実施している。
②来館者に関する特記	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で唯一現存する移住関連施設であることから、大学の研究グループ等による来館がある。 令和元年度:36大学(うち関西圏外10、海外3)のべ71回 平成30年度:46大学(うち関西圏外18、海外3)のべ76回 ・その他、自治体関係者、高校、中学、海外からの視察 等

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 51,000人 ・貸館稼働率 48% 	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 52,587人(達成) ・貸館稼働率 54.5%(達成)
②収入目標額	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業 350,000円 ・駐車場・・・目標設定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業 379,700円 ・駐車場 925,400円
③その他新たなサービス	特になし	

4. 利用者の満足度調査等

		元年度の状況
①満足度調査の実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法: 来館者にできる限り声をかけ用紙を交付し、記入を依頼。 ・調査期間: 常時 ・回収件数: 令和元年度945件(平成30年度1,117件) ・質問項目: 来館目的、知った方法、来館回数、展示内容の評価、館内環境、スタッフの対応に対する評価、再訪の意向、同伴者の有無など ・イベント開催時は会場で配布・回収し、回収活動ができるだけ来館者に見える形になるよう工夫。
②満足度調査の結果		<p>【施設全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館目的(重複回答あり、カッコ内は前年) 移住ミュージアム:47(49)%、 在住外国人支援:10(4)%、 国際芸術交流:2(2)%、 イベント19(27)%、 貸館利用1(1)%、 その他17(14)%、 未記入4(4)% ・知った方法 HP7(7)%、 観光案内所1(2)%、 イベントチラシ6(11)%、 新聞2(4)%、 紹介50(42)%、 通りがかり7(5)%、 その他20(23)%、 未記入(8)% ・展示内容 とても良い:41(45)%、 良い:39(36)%、 普通7(8)%、 あまり良くない:0(0)%、 良くない:0(0)%、 未記入:13(12)% ・再訪の意向 ぜひ来たい:39(48)%、 来るかも:52(44)%、 来ない:2(2)%、 未記入:7(6)%
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの苦情については特に見られなかった。 ・アンケート自由意見欄では、「移民の歴史に触れることができよかった」「ミュージアムのスタッフの説明が非常に分かりやすかった」という意見が多数見られた。他には、「もっと広報して来館者を増やしたらいい」「壁面の説明などを最新の状況に適宜リニューアルしてはどうか」などの意見があった。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	OAAA ●AA OA OB OC
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・3年前とおととしと比較しても、ほぼ遜色ない事業展開をしており、大学でのゼミや授業の一環として利用されるという特徴があるので、そういった点を伸ばしてもらいたい。 ・3月は休館したため来館者が減っていたが、2月までの人数を見ると前年度を上回るペースで人数が増えていた。新型コロナウイルスによる影響を除けば目標は十分に達成されたと言える。 ・「3 主な提案内容と達成状況」を見ると提案内容をすべて達成している。ただ、広報の工夫や説明のリニューアル、また3つの機能を連携させる工夫が必要と考える。 ・アンケートの回収数が減少しているため、何らかの工夫が必要である。 ・連携事業を実施してはいるが、3つの機能の複合施設として、より連携するように工夫して施設の魅力を向上してもらいたい。